



奈良県感染症情報

平成 31 年 第 6 週(2 月 4 日～ 2 月 10 日)

奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)

<http://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

インフルエンザ警報発令中です!

今週の概要

- 小児科外来情報
- 1月報(月単位報告対象疾患(性感染症・薬剤耐性菌感染症)の状況)

◆ 定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患) ◆

順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)	増減			
1	インフルエンザ	20.38	(35.40)	↘	↘	↘	↓
2	感染性胃腸炎	6.88	(6.56)	→	↘	↗	↘
3	A群溶連菌咽頭炎	1.94	(2.21)	↗	↑	→	↑
4	咽頭結膜熱	0.59	(0.35)	↑	↑	↑	↓
5	水痘	0.35	(0.12)	↗	→	↑	↓

発生状況: **大流行** **流行** **やや流行** **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています。)

増減: 過去5週間平均数と比べたときの变化 **↑↑急増**、**↑増加**、**↗やや増加**、**→横ばい**、**↘やや減少**、**↓減少**

◆ 県内概況 ◆

インフルエンザの報告数は先週に比べて減少しましたが、「10」を下回るまで警報は継続します。保健研究センターの検査では、昨年は AH1pdm09 型を多く検出していましたが、今年 1 月に入ってから AH3(香港型)を検出しています。今のところ B 型は検出されていません。同じシーズンの中で A 型インフルエンザに 2 回かかったり、A 型と B 型両方にかかったりすることがあります。手洗いの励行、咳エチケットを心がけましょう。

感染性胃腸炎の報告数は横ばいです。感染性胃腸炎の原因病原体は数多くありますが、春先にはロタウイルスによる感染性胃腸炎が増加します。子どもから親へと感染が広がることもあるため、おむつは適切に処理し、感染を拡げないよう注意して下さい。

❖ 小児科外来情報 ❖

北部地区(矢追医院)

インフルエンザは、2 月第 2 週後半から減少が顕著になっています。ただし、今シーズン迅速検査で 2 回 A 型陽性の方もあります。今後は、B 型が増加してくる可能性もあります。

感染性胃腸炎は、流行になっておりませんが増加しています。

中部地区(岡本内科こどもクリニック)

インフルエンザがやや減少に転じ外来数は減少傾向。

現在まですべて A 型、2 度罹患の例は現在までのところなし。

重症経過例はなかったが、ゾフルーザ内服後も解熱しない例があった。

感染性腸炎も持続、幼児の検査例で、ロタ1例(ワクチンなし)、ノロ陽性例も数例あった。

その他、水痘がわずか。

南部地区(南奈良総合医療センター小児科)

A 型インフルエンザの流行は続くも、流行のピークは越えた感あり。B 型インフルエンザはまだない。今シーズン中に 2 回目の A 型インフルエンザに罹患した幼児あり。

胃腸炎も減少してきている。

❖ 定点把握感染症報告状況 ❖

平成 31 年 第 6 週 2 月 4 日 ~ 10 日

保健所別報告数	奈良県		北部		中部		南部	
	奈良市	郡山	中和(東)	中和(西)	内吉野	吉野		
インフルエンザ定点数	55	14	14	11	10	2	4	
インフルエンザ	1121 (20.38)	259 (18.50)	305 (21.79)	212 (19.27)	267 (26.70)	22 (11.00)	56 (14.00)	
小児科定点数	34	9	9	7	6	1	2	
RSウイルス感染症	11 (0.32)		2 (0.22)	4 (0.57)	5 (0.83)			
咽頭結膜熱	20 (0.59)	3 (0.33)	8 (0.89)	1 (0.14)	8 (1.33)			
A群溶連菌咽頭炎	66 (1.94)	15 (1.67)	10 (1.11)	8 (1.14)	30 (5.00)		3 (1.50)	
感染性胃腸炎	234 (6.88)	43 (4.78)	43 (4.78)	72 (10.29)	70 (11.67)	5 (5.00)	1 (0.50)	
水痘	12 (0.35)	4 (0.44)	1 (0.11)	7 (1.00)				
手足口病	7 (0.21)		6 (0.67)		1 (0.17)			
伝染性紅斑	1 (0.03)			1 (0.14)				
突発性発しん	7 (0.21)	2 (0.22)	1 (0.11)		3 (0.50)		1 (0.50)	
ヘルパンギーナ								
流行性耳下腺炎	3 (0.09)	1 (0.11)	2 (0.22)					
眼科定点数	10	3	3	2	2	0	0	
急性出血性結膜炎								
流行性角結膜炎	3 (0.30)		1 (0.33)	2 (1.00)				
基幹定点数	6	1	2	1	1	0	1	
細菌性髄膜炎								
無菌性髄膜炎								
マイコプラズマ肺炎	2 (0.33)			1 (1.00)			1 (1.00)	
クラミジア肺炎								
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	1 (0.17)		1 (0.50)					

❖ 全数把握感染症報告状況 ❖ ()は保健所別内訳

1類感染症	
2類感染症	結核4件(郡山1、中和3)
3類感染症	
4類感染症	
5類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1件(郡山1) 風しん1件(奈良市1) レジオネラ症1件(中和1)

❖ 第6週のトピックス ❖

◆報道発表資料 麻しん(はしか)患者の発生に伴う注意喚起について(第2報)

大阪市

<http://www.city.osaka.lg.jp/hodoshiryo/kenko/0000461824.html>

あべのハルカス近鉄本店で複数名の従業員が麻しんに感染していることが判明しています。奈良県からの利用者も多いと予想されます。麻しんを疑う症状が現れた場合は、事前に医療機関に連絡の上、指示に従い受診してください。麻しんは、感染すると10日～21日(約10日)後に発熱や咳、鼻水といった風邪のような症状が現れ、2～3日熱が続いた後、39度以上の高熱と発疹が出現します。

※平成27年2月16日より桜井保健所と葛城保健所は統合され中和保健所となりました。旧桜井保健所分は中和(東)、旧葛城保健所分は中和(西)として集計しています。

上段 : 報告数

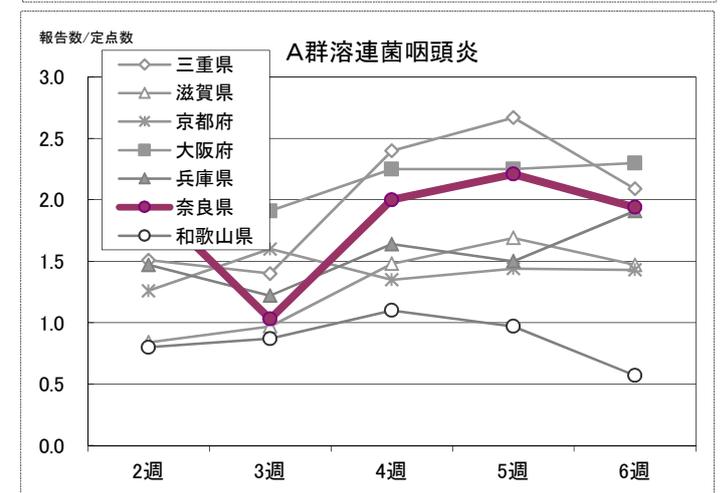
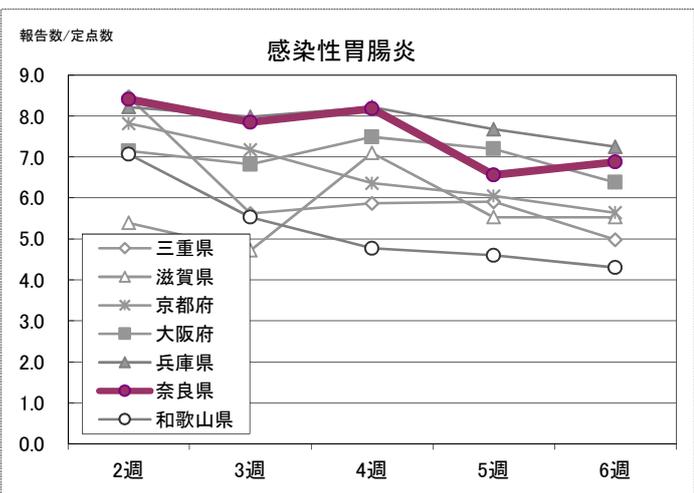
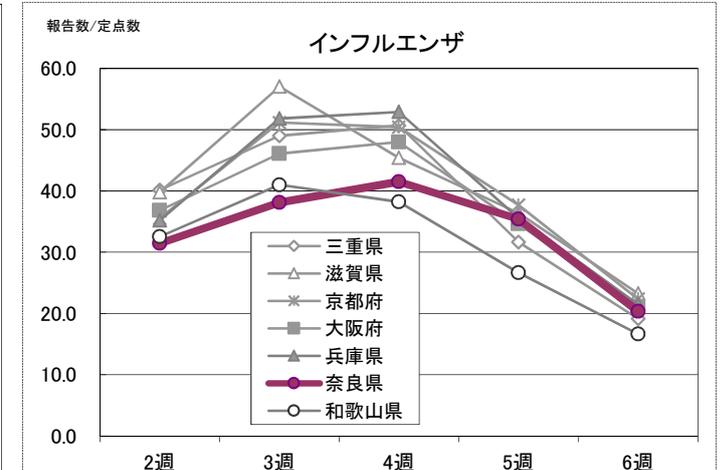
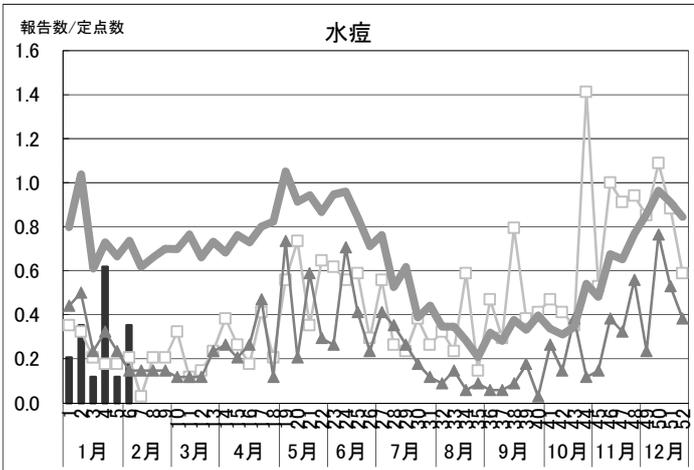
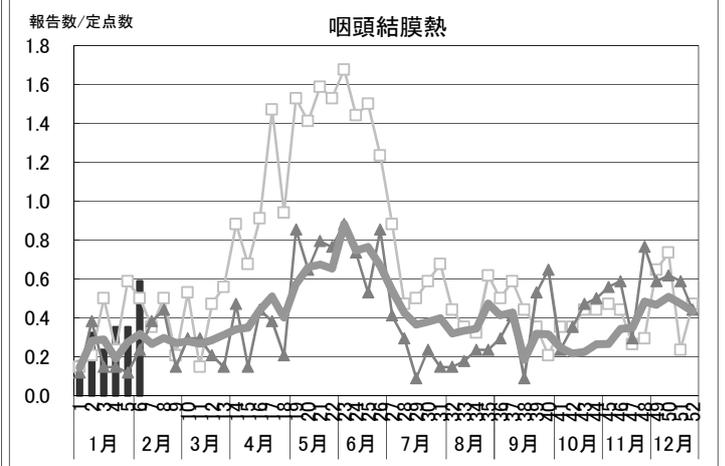
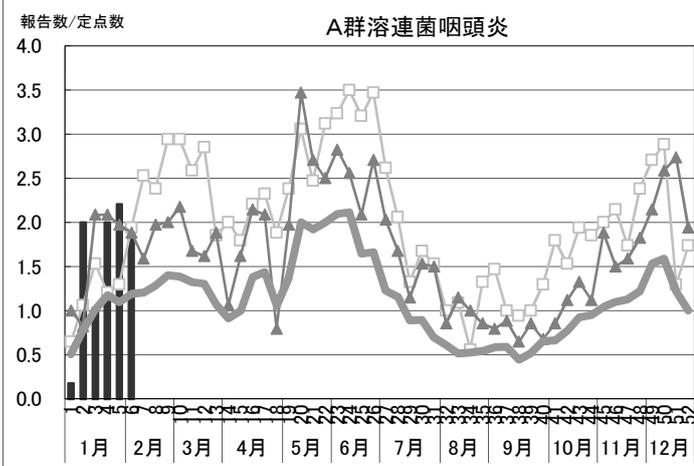
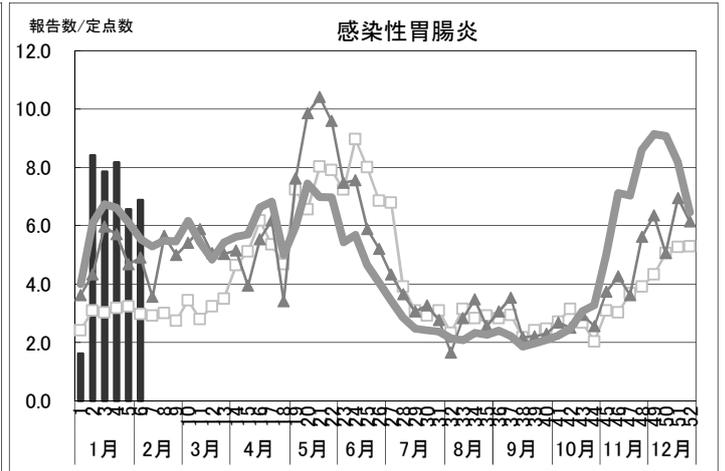
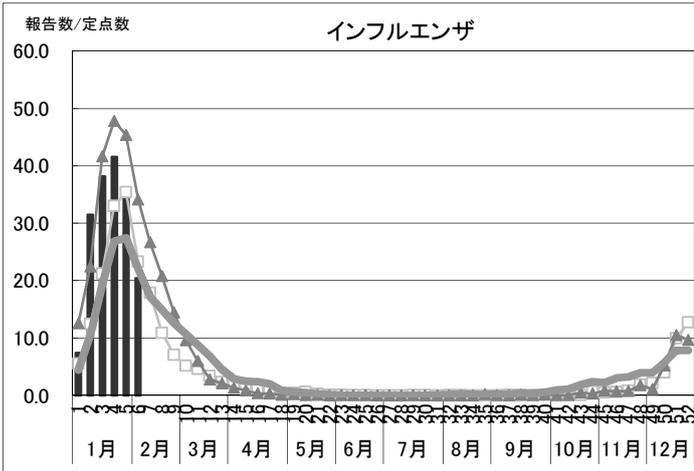
(下段) : 定点当たり報告数 報告数÷定点数

年齢別報告数

年齢区分	年齢	0-5M	6-11M	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-	合計	累計
インフルエンザ	男	6	7	19	21	40	32	40	48	26	26	20	97	29	21	25	44	28	16	13	7	565	4761
	女	1	11	21	22	32	33	33	33	23	29	18	81	16	34	44	40	27	30	18	10	556	4823
RSウイルス感染症	男			4	1	1																6	32
	女			1	2	2																5	36
咽頭結膜熱	男			2	1	6		4														13	44
	女			4					2				1									7	25
A群溶連菌咽頭炎	男			2	2	2	5	5	3	5	3	1	1									29	160
	女			2	1	3	6	5	6	3	3	5	3									37	158
感染性胃腸炎	男	1	3	18	16	10	11	12	2	4	4	1	14	4	13							113	689
	女	1	4	24	16	11	7	11	9	2	3	4	6	4	19							121	654
水痘	男			1					2				1									5	34
	女			2	1			1	1				2									7	26
手足口病	男		3																			3	17
	女		2	1	1																	4	18
伝染性紅斑	男																					1	13
	女					1																1	11
突発性発しん	男		2	1																		3	34
	女		2	2																		4	23
ヘルパンギーナ	男																						3
	女																						2
流行性耳下腺炎	男							1														1	3
	女							1					1									2	6
急性出血性結膜炎	男																						
	女																						
流行性角結膜炎	男																						19
	女				1												1		1			3	13
細菌性髄膜炎	男																						1
	女																						1
無菌性髄膜炎	男																						1
	女																						1
マイコプラズマ肺炎	男			2																		2	5
	女																						6
クラミジア肺炎	男																						
	女																						
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	男		1																			1	1
	女																						

❖注目疾患の動向❖ 全て定点当たり報告数

■ H31 ▲ H30 □ H29 〰 過去10年平均



❖ 定点把握感染症報告状況 ❖

平成 31 年 1 月

	北部		中部		南部		上段：報告数														合計	累計				
	奈良県	奈良市	郡山	中和(東)	中和(西)	内吉野	吉野	(下段)：定点当たり報告数 報告数÷定点数																		
性感染症定点数	11	3	3	2	3	0	0	年齢	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-	合計	累計
性器クラミジア感染症	23 (2.09)	4 (1.33)	8 (2.67)	2 (1.00)	9 (3.00)	男					1	5	1		2								9	9
						女				3	7	3		1									14	14
性器ヘルペス	6 (0.55)	1 (0.33)	2 (0.67)		3 (1.00)	男					1		2	2		1							6	6
						女																		
尖圭コンジローマ	2 (0.18)				2 (0.67)	男							1								1		2	2
						女																		
淋菌感染症	2 (0.18)	1 (0.33)	1 (0.33)			男					1								1				2	2
						女																		
基幹定点数	6	1	2	1	1	0	1	年齢	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-	合計	累計
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	51 (8.50)	13 (13.00)	12 (6.00)	11 (11.00)	14 (14.00)	...	1	男	2	1												1	3	4	23	34
						...	(1.00)	女						1			2			1					13	17
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	3 (0.50)		2 (1.00)		1 (1.00)	...		男		1															2	3
						...		女																		
薬剤耐性緑膿菌感染症						...		男																		
						...		女																		

❖ 対象疾患の動向 ❖ 全て報告数

■ H31 ▲ H30 □ H29

